

# 平成20年度第2回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

平成21年2月10日（火）

15:00～17:00

仙台市議会第三委員会室

## I 次第

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 家庭ごみ等の有料化の実施状況について

(2) 仙台市一般廃棄物処理基本計画について

(3) その他

○ 平成21年度のごみ減量・リサイクル推進施策について

4. 閉会

II 出席委員数 出席 15名

欠席 5名（猪股委員，鈴木泰爾委員，千葉委員，野田委員，紅邑委員）

※猪股委員については代理出席者あり。

（委員総数20名。詳細は別紙のとおり）

## III 議事

議長(海野会長)	<p>発言いただく場合、議事録作成の必要があるため、マイクの使用をお願いします。運営要領によって議事録の署名委員を選出する必要があります。吉岡委員にお願いしたいがどうか。</p> <p>（吉岡委員から了承の返答あり。）</p> <p>後日、署名をお願いします。本審議会は、公開を原則としている。本日の議題について、非公開とする理由はないと思うので、原則どおり公開したいと思うが異議ないか。</p> <p>（異議なしの声）</p> <p>それでは、公開ということにする。 議事次第に従って進めさせていただく。「家庭ごみ等の有料化の実施状況について」、始まってから半年近く経ったが、その状況について報告を願う。</p>
総務課長	資料1「家庭ごみ等の有料化実施状況について」説明。
議長(海野会長)	それでは、今の報告について、皆様から質問やご意見をいただきたい。いかがか。岡本委員。
岡本委員	昨年10月から順調に推移している。職員、市民に敬意を表したい。仙台は、環境に関心が高いことを誇りにしている。ほかの自治体では、有料化したのが9割方うまくいってるから大丈夫という返事もあったが、仙台の場合、いかに100%に近くやるか。99%でもちょっとという声上がる。そういう意味で、ぜひ継続して啓発、適切な排出に努力して欲しい。そのなかで確認したいが、まずは、当初懸念された、学生さん、一人暮らしの方等に情報が届かないのを懸念しており、学生に聞くと、1年生は入学オリエンテーションで聞いたという声を貰った。ところが、2年生以上は、知らない、そういう接点がないという方もいるのと、コンビニでバイトをしている学生から、コンビニのごみが増えたという意見も貰った。もうひとつは、外国人も1万人いるといわれているが、日本語が通じない方は、不安を持っている人もいると思う。そういう方へのきめ細かいアプローチを引き続きやって貰いたい、この半年間、どのように一人暮らしや外国人

	の方に取組まれたのか、伺う。
議長(海野会長)	それでは、今の質問に対して、お願いします。
相沢課長	<p>まず、学生の指導啓発だが、新入学生オリエンテーションの時に、説明会を設ける機会を貰っており、1年生には情報の提供を行えたが、2年生以上には、なかなか情報が伝わらないといった点がある。そこで、特に排出状況の悪い集積所を利用する集合住宅に対し、ごみ分別や有料化の、特に限定した内容で、個別にチラシを配付している。ごみの分け方・出し方を全戸配付してるが、情報が伝わらない、読んで貰えないという部分があるので、個別に対応している。</p> <p>留学生の関係だが、ごみの分け方・出し方は、英、中、韓と3ヶ国語を作っている。そこで国際交流会館等を通じ、事業者、学校等に外国語版を配ったり、日本語学校に出向き、講習会等も実施している。今年度7回ほど専門学校に出向き、延べ400余名位の参加者に説明会等もしている。</p> <p>コンビニについては、店の外にごみ箱があると、ごみが入られるということもあるので、コンビニでは、店内にごみ箱を移動させるなどの対策をとっていると聞いている。今後、色々な広報媒体を使い、ごみの分け方・出し方について周知をしたいと考えている。</p>
議長(海野会長)	岡本委員。
岡本委員	<p>きめ細かく対処する必要がある。一人暮らしの他に、外国人への対応は、言葉によっても違うと思う。ひとつは学校へのアプローチが考えられる。説明会に来てくれる方には通じると思うが、来ない方に対しては、大家を通じてというのが一番早いので、外国人がいるのであれば、大家から何語のパンフが必要なのか情報を聞いた上で届けるとか、学生に対しても、大家を通じて確実に届くように、配慮いただく、そういう工夫をこちら側からやっていかないと、関心のある方は来てくれるが、まったくわからない方も多くいるなかでは、市からのアプローチは、非常に努力が必要だ。引き続きこちら側からの努力を継続していただきたい。</p> <p>あと、色々な場でごみが減ったか聞くと、女性が集まる場では、半分位が減ったと答える。男性が多く集まる場だと、わかりませんという回答が多い。減っているかもしれないが、私が捨てているごみは変わってないという方が多い。実際にごみを出しており、ごみ袋を買っている方については、関心が高まっている。しかし、そうでない人は関心が低い。そのような人に対しては、一人ひとりの生活が見直されているのだということ、本来の目的は、有料化して収益を上げるのではなく、ごみを減量することだと思うので、ぜひ、一人ひとりに関心を持って貰うように、引き続き啓発に努力して欲しい。この点についても方針を伺いたい。</p>
議長(海野会長)	局長、お願いします。
環境局長	<p>大学生とか留学生とか、そういった広報の重要性は、十分認識しており、導入当初だけやればいいという考えはまったくなく、今も大学とか、不動産会社とかと個別に調整し、留学生も含めて、きめ細かな対応に今後とも努めていきたい。</p> <p>また、分別の徹底に向けた呼びかけ、これも家庭ごみは2割減っているが、しっかり分けている市民が増えたのは事実だが、相変わらずそういった意識がない市民もいるので、分別に取り組んでいない市民に対し、協力して貰える広報の仕方も工夫して、粘り強く減量リサイクルが徹底されるよう、啓発をしていきたい。</p> <p>来年度予算で、紙類リサイクルに向けた全戸配付チラシを配ったり、分別状況の個別アンケートもやって、より課題を明確にしてわかりやすい広報に取り組んでいきたい。</p>
議長(海野会長)	そのほかの方からよろしいか。では、加藤委員。

加藤委員	<p>非常に数値が改善されたということは、敬意を表したい。ただ、質問が2つある。まず、プラスチック製の部分を見ると、この4ヶ月間で見ると、2.4%増加しているが、内訳はどんなものが増えているのか教えて欲しい。このような質問をする背景は、ごみの排出という問題においては、事業者が、一般市民に物を提供しているということが基礎になっているので、そういう部分も勘案しながら、今後の施策に対応したいと考えることにある。</p> <p>2番目が、2割ほど削減できているということだが、焼却コストについて、どう変化しているのかというようなことについて教えて欲しい。このような質問をするのは次のような理由による。事業者は、ゴミ袋を一般市民に販売しているわけだが、従来、原価と売価の差で利益が入っていた。現在は、手数料として3%お預かりしているが、業者からは、やっぱりコストが相当かかって、赤字になっているという声が多い。ゴミが少なくなる、ゴミ袋の販売によって利益が出てくる、市のコストも軽減されてくるというようなこともいいが、バランスというものがある。そういう意味で、一般事業者のところで、負担がかかっている、そこを見ると赤字になっているという問題は、やっぱりよくないのではないのかと、そう思うので、全体のバランスの上で、手数料等の配分は検討して貰ったほうが望ましい。それで、ごみの焼却等のコストの変化を伺いたい。</p>
議長(海野会長)	<p>今のポイント、非常に重要なポイントなので、事務局から願います。</p>
遠藤課長	<p>まず、プラスチック製容器包装の分別量が増加したことについてだが、プラスチック製容器包装は、14年から全市拡大し、15年をピークに減少傾向にあった。19年度は、18年度に比べ、ちょっと落ち込んでいたが、今回は増加するというので、これは有料化に伴い、家庭ごみの分別が進んだものと評価している。どういうものが出てくるかだが、選別施設では、ボトル系とフィルム系に大きく分け、再商品化に向かっているが、最近では、ボトル系のものが少なくなっている。これは、詰め替え容器とかに消費者の購買動向が進んでいるためだと考えている。</p>
環境局長	<p>2点目の焼却経費と手数料の関連だ。加藤委員が話した手数料というのは、指定袋販売手数料だ。指定袋自体の、市民が負担する手数料とは別の話だ。まず、焼却ごみの処理経費については、少々の減量、増量では、処理経費というのは、そんなに変わらない。今、600トンの工場3つで処理しているが、工場の運営費は、工場がなくなるとか、そうならないと、大きく運営経費は変わらない。減量によって、埋立量が減るとか、維持管理の消石灰が減るとか、そういう部分があるが、長いスパンで見ないと、経費がどうなっているかは見えてこないで、現段階では、具体には申し上げられない。もう一方の販売手数料については、個別にチェーンストア、個別の販売店と交渉し、理解を貰ったうえで契約したという経過があるが、加藤委員のような意見も貰っており、来年度については難しいが、再来年度以降、協議をしてまいりたい。</p>
議長(海野会長)	<p>加藤委員、よろしいか。</p>
加藤委員	<p>今の回答で十分に理解しているつもりだが、長いスパンでコストがどう変化しているかということも重要な問題だ。ごみ量が減るということは、重油等も減るわけだから、そういった意味でのコスト管理を、今後も十二分に検討していただきたい。</p>
議長(海野会長)	<p>その他いかがか。それでは松坂委員。</p>
松坂委員	<p>紙類定期回収が、並行して始まり、4ヶ月で2,932トンと出てきたが、これに伴い、集団回収に対する影響がどうだったのか業者に聞いてみたが、若干減った気もするという話だった。数字的にわかるんなら、どの程度影響あったのか教えて欲しい。</p> <p>それから、ごみの有料化は、減量と同時に、市民に応分の負担をして貰う形で、かか</p>

議長(海野会長)	<p>っている金を軽減したいという、その意味から、審議会で検討し、袋が4種類になった。私も質問したが、小さい袋ほど採算がとれなかった。現状で、大きな袋が一番売れているだろうが、大中小、特小、その販売の数字が大事になるので、お伺いしたい。</p> <p>事務局のほうよろしいか。</p>
早田次長	<p>集団資源回収への影響だが、当初6%位減ると見ていた。10~12月までで、2.5%の減ということで、さほどの量の減少はない。それから、袋の販売状況だが、予想していたような販売状況で、大、中が多く、それから小、特小が若干少ないというような状況になっている。</p>
議長(海野会長)	<p>松坂委員、よろしいか。それでは、ほかの委員から。佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>私もごみの集積所を回ってみて、そういうところの担当者と話をして、住民が、誤解をしていることがあるようだ。ひとつは、分別と選別がどうもはっきりしてない。例えば、缶の場合は、機械で選別するから潰すなど書いてある。ペットボトルはガサがあるから潰せと。住民の一般的傾向として、どっちかに偏ってしまう傾向が強い。現に見てると、ペットボトルはほとんど潰れてない。業者もこのまま持っていくから、住民は、缶を潰さないのなら、ペットボトルも潰さないんだというような、そういう先入観があるので、そういう面倒な分別と選別なんていうことより、とにかく分けるんだということであれば、潰す、潰さないというようなことは避けて欲しい。例えば、缶は機械でやる、ペットボトルは嵩張るので潰せとあるが、なかなか体得できないのが住民の現状だ。そこを理解して、今後、それをもう少し徹底をするというなら、もう少し広報に工夫を凝らして欲しい。ごみの回収率をあげるなら、潰すとか、潰さないという小さな問題は触れないで出すような方法をとって欲しい。</p>
議長(海野会長)	<p>今のは、重要なポイントだ。そのほかの方からも意見を貰い、まとめて答えて欲しい。いかがか。鈴木委員。</p>
鈴木(金)委員	<p>確認するが、色々な団体も含めて、ここ数年、ごみ減量には、色々と尽力いただいているが、有料化になった時点で、もっと減るという認識があった。これでも随分減ったが、もっと減らす要因があるので、小さなところから少しずつ突いて、減らす工夫してほしいが、気になるのは、営業ごみが減ってないのかと。企業でも色々と分別してやっている部分があるが、私が事務所を借りてるビルで、営業ごみが毎日多い。これは、家庭ごみとぜんぜん違うが、企業、事業者におけるPR等もしていないと、全体にやっぱり減っていかない。それから質問だが、隣接する市町村に、仙台のほうからごみが持ち込まれているようなことがあるのかどうか伺いたい。</p>
議長(海野会長)	<p>では、もうひとかたぐらいあれば。吉岡委員。</p>
吉岡委員	<p>皆さん努力してごみを減らしているが、減ったごみがどこに行っているのかというのがある。売る側のほうで販売量を減らしているとは思えない。コンビニに持って行くといっても、この位の量を、住民がコンビニに持って行くわけではなく、減ったものは、どこに行ってるのかという疑問がある。家に溜めてるのかどうかだが、そんな溜めてるわけではない。減ったごみがどこにあるのかというのが知りたい。</p> <p>家庭ごみ排出量の推移というグラフを見て貰いたい、総量で何%減ったというのは、効果があったことがわかる。ところが、前年度比を見ると、段々、間が狭まってきている。当初は、ごみ袋が高いということで抑制していたが、時間がたってくると慣れがあり、前年と変わらなくなっているのではないかと、グラフを見て思う。第1回目の時に言ったが、最初は効果があるが、リバウンドが懸念されると言った。そういう傾向が随分早く見えてきてる。この差が、リバウンドに相当するものなのか、別な要因があ</p>

	<p>るのか、解析や調査をしているのであれば伺いたい。</p>
議長(海野会長)	<p>それでは、このへんで局長から回答をお願いします。</p>
環境局長	<p>まず、ペットボトルや缶を潰す、潰さない、このへんは、収集面、処理面の課題があり、そういった形でお願いしている。ただ、市民は、一方を潰せ、一方は潰すなどいわれても、なかなか徹底できないので、今後、さらに啓発活動に工夫をして、引き続き協力をお願いしたい。続いて、事業ごみの関係だが、有料化導入の際のパンフレットにも掲げていたが、事業ごみは減少傾向にある。生活ごみは、横ばいで減らないということがあって、有料化を進めたが、そういったなかでも、まだまだ紙類とか、事業ごみに混入されているものもあるので、昨年度、パンフレットを作って各事業者にも配ったが、引き続き、そういった啓発活動や、処理施設、焼却施設の受け入れの際の指導等、様々な対策を講じて、事業ごみの減量、リサイクルを徹底させたい。</p> <p>また、周辺市町村へ有料化に伴って、ごみが不法投棄されたのではという指摘だが、導入当初に何箇所かあった。それについては、何回か調整して、すべて仙台市で回収している。その後も連絡調整は密にとっているが、直近では、特段そういった状況はない。</p> <p>あと、減量幅が小さいという分析の状況だが、まだ4ヶ月ということで、詳細な分析には至っていないが、家庭ごみが減った要因としては、紙類自体の分別が進んで減った部分もあるし、電気式生ごみの補助制度を多くの世帯で活用いただき、それで減った部分もあるし、景気の低迷、特にチラシなんかは、もともと減ってるという状況もあって、様々な要因があるが、そのへんは追って詳細に分析して、審議会、市民に知らせたい。週ごとの減少幅が減ってきているという指摘だが、ごみ自体の季節変化というものもあり、冬場になると減ってくる状況もある。17週目までしか出てないが、この後も3,000トンを超える水準で推移しており、減少幅が今後どうなるかも、まだ見えない。いずれにしても、当初徹底的に分別していたのが、慣れてくると、徐々に徹底されなくなるというところもあるので、今後とも、広報啓発を工夫して、取り組んでまいりたい。</p>
議長(海野会長)	<p>よろしいか。それでは岡本委員。</p>
岡本委員	<p>紙類の回収を、自分のところが何曜日なのか知らないという方も多い。始まったこと自体知らない方もおり、まだ集団資源回収との区別がついてない。うちのところは、やってないと思っている方も多かったので、徐々には増えてるとはいえ、紙類を減らしてもらおうのが、一番、量としては減る、小さい袋で出してもらおうには効果的なので。あと、雑がみの出し方も、トイレトペーパーの芯とかは、出せないと思っていたという方も結構いた。小さい名刺サイズの紙や、割り箸の袋などは資源ごみとして回収されないとはいっている方が多くいるので、ぜひ、そういう啓発を引き続きやって欲しい。</p>
議長(海野会長)	<p>その辺りは啓発のコストと啓発によって生じるベネフィットとを考え合わせながら、適切な水準ということになる。</p> <p>一番目の議題について、そのほかよろしいか。鈴木委員。</p>
鈴木(昇)委員	<p>家庭ごみの減量、抑制等を図って有料化まで漕ぎつけたが、結果的にいい結果が出たことは大変望ましいが、以前から比べれば、今、焼却に持ち込まれているごみは、生ごみを中心になる。しかし、コンポスト等で水分をとって出していることを考えれば、ある程度の効果は出てるが、それによる焼却時の重油が、分別、リサイクル以前の状況と今の状況、どのぐらい変化あるのか疑問だが、まだ3ヶ月か4ヶ月で、出てるかどうか分からないが、わかる範囲でお願いしたい。</p>
大槻課長	<p>ごみの焼却に際して、炉の立ち上げ立ち下げには重油とか使っているが、通常の運転では、補助燃料を使っていないので、ごみが減っても、重油の使用量が減ることはない。</p>

議長(海野会長)	追加の質問どうぞ。
鈴木(昇)委員	私が聞いたかったのは、カロリーの少ない焼却物が中心になってきたのかと。そうした場合に重油は、単純に考えれば増えて当たり前と、そのへんがどうなのかを伺いたい。
大槻課長	有料化が始まって、カロリーは1割程度は下がってきている。データはまだ少ないので、どの程度とはいえないが、1割程度の減少で見ると、助燃を必要とするまではいつてないということで、ごみのカロリーだけで焼却できる状況にある。
議長(海野会長)	それでは、一番目の議題について、まだまだ議論あるかと思うが、二番目の議題に移る。「仙台市一般廃棄物処理基本計画について」、事務局より説明を願う。
星課長	資料2「100万人のごみ減量大作戦ー仙台市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画ー」について説明。
議長(海野会長)	事務局に確認するが、「一般廃棄物処理基本計画について」という、今日の議事の到達点について、事務局の希望、要望を知らせて欲しい。
星課長	本日は、基本計画の概要的なところを改めて事務局から説明させて欲しいということと、委員から、現状とか、これからについて忌憚のない意見等をいただきたいが、実績値、計画の進捗状況という点では、さらに詳しい内容を、資料を用意した上で説明する。それについては、20年度の実績が出るのが今年の7月、8月頃になると思うが、そういったものを踏まえ、詳しい計画の進捗状況について、報告させて欲しい。
議長(海野会長)	確認だが、8月頃実績が出て、それを踏まえながら次の動きを考えると、そのためのラフな方向性について、現在の問題点について、体系的でなくても、意見が欲しいということか。それでは、そのような趣旨に沿って、一般廃棄物処理基本計画について概要の説明があった。それについて、うまく達成できるとか、問題だとか、放談に近いものでいいので、次の計画策定にあたっては、こういうことに注意すべきだろうかと、そのようなこと、自由に発言いただきたい。加藤委員。
加藤委員	2点ほど教えて欲しい。ひとつはリサイクルに関する問題だが、食品リサイクル法だが、事業者の段階では業種によって異なるが、5年後までに約45%まで改善しなければいけないという法的な要請がある。この部分について、事業者は、実施計画、ガイドラインを持ちながら展開していくつもりだが、実際問題として、私どもは大量に廃棄してるので、そういう部分は是正しなければいけない。実施計画に基づいてやってるが、中小事業者の場合、何らかの支援をしていかないと改善が進まない。そういう意味で、基本理念のなかに支援という部分の概念があったほうが望ましいのではないのか、その辺の考え方を教えて欲しい。 それから、リサイクル関係で、ダイオキシン等の環境汚染物質対策を表現している。これは、十数年前にマスコミ等で取り上げられて問題になった事案だ。しかし、その後、ごみ焼却場から出る内容については、ダイオキシンが人体に影響を与えるほどのものではないということが研究されて発表になってることから、設備投資を行うにあたり、莫大な投資をすること自体おかしいという論調がある。そういった部分を勘案した時、やらなければいけないことは、きちっとやらなければいけないが、過大な設備投資は必要ない。そういう意味で、このダイオキシン問題に関する対応は、どう考えているのか、そういうこともオープンにして欲しい。
議長(海野会長)	準備の都合で次回ということでもいいが、答えられる範囲でお願いします。

星課長	<p>食品リサイクルに関する中小事業者の支援だが、行政の支援のあり方は、様々な形がある。お金を出す支援も古くからあるが、そういった支援は今の時代は難しい。例えば、民間で食品リサイクル施設を作る際に、情報提供することは可能だ。また、仙台市でも、堆肥化施設を自前で持っているの、そういったところでの運営のノウハウ等を提供するのもひとつだし、利府町に民間事業者が堆肥化施設を持っているので、そういったところへの利用を促す周知をするといったことも支援のひとつだ。どういった支援が可能か、効果的か、そのあたりを十分検討していかなければならないと考えている。</p> <p>ダイオキシン対策だが、行政が設ける施設であれば、法の基準をクリアするのは当然だ。ただ、施設を設置する場合、地域の方の理解を得ながら施設を整備する必要があるのも事実で、仙台市では、今、国の基準の10分の1の排出レベルを達成するといった形で施設を設置しているが、無駄なものではなく、地域の方の理解を得るために、市民によりよい環境を提供するというか、今の仙台市の環境をよりよく保つ上でも必要なことだと考えている。</p>
議長(海野会長)	そのほかの方から意見、質問貰いたい。岡本委員。
岡本委員	<p>現行の「仙台市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」の目標は、22年度になっているが、これから検討する計画は23年度からスタートさせる計画として策定を進めていくということなのか。これが一点。また、既に現在現行計画の一人当たりの排出量目標値（注：平成10年度比13%減）をクリアしている。有料化関連の計画で15%削減という数字があったが、基本計画で目標達成しているこの点については、22年度までにこれを達成しようと、現行計画の広報資料にシールでも貼って督励してはどうか。そういうことをやるのかどうか確認させて欲しい。</p>
環境局長	<p>計画期間の関係は、仙台市の総合計画である基本計画が、22年度までということで、各分野の総合的な計画は、概ね同じ計画年次に行っている。従って、総合計画の改訂作業と調整しながら進めていかざるを得ない。現段階は、新計画は、23年度スタートと思っているが、そのへんも今後、調整する。今の計画自体が達成されるなかで、今後どうするのかは、有料化関連で、この基本計画とは別に、家庭ごみを15%減量する、紙ごみも減らすというような目標も立てているので、新たな数字を作って、1、2年間、それを目標とするということは、現段階で考えていないが、より高い水準でごみを減らしていきたい。この指標自体、事業ごみ、生活ごみ合わせて一人当たりということで、達成した実感が、市民、事業者にわかりづらいというところもあるので、新しい指標のあり方も含め、今後、議論して欲しい。</p>
岡本委員	<p>新計画は、新たに策定ということで結構だが、せっかく有料化をして、市民の関心が高いときなので、家庭ごみ15%削減は、公表しているものなので、現計画の資料にシールでも貼って、今はここ、15%削減を目標として、という姿勢を見せてもいいと思った。単純にこの情報だけで見ると、もう達成しているから、これ以上の努力は必要ないということになりかねないので、新たな計画と並行して、今の現計画でも、15%削減ってというのは、どっかに分かるようにして欲しいという要望を付け加えさせて欲しい。</p>
議長(海野会長)	それはテクニカルな問題なので、適切に対応して欲しい。
岡本委員	お願いします。
吉岡委員	<p>ひとつ目標を達成しているの、可能なら22年度に向けて新たに目標を作り直してもいいのではないのかというのが意見だった。今、回答を貰ったが、住民とか、仙台市の行政サイドで努力して、目標を達成したが、ただリサイクルをしたからごみが減ったというのではなく、売る側も、ごみを出さないような売り方をしてもらうことを広めて</p>

<p>議長(海野会長)</p>	<p>もらいたい。今後、100万人のごみ減量大作戦には、受け側だけの目標設定ではなく、売る側にも努力をお願いするような、もっときつい論調でもいいのかもしれない。このくらい削減を要望するというふうにしなないと、まずいのではないか。それが100万人というところにつながっていく。家庭では出す側で、仕事では売る側という人達は、相当いるので、そこは行政側で調整して、もっと減るような目標を立ててもいい。また、リサイクル率という数字にこだわらなくてもいい。一番大事なのは、ごみを減らすということだ。リサイクルをして、リサイクル製品が増えても、はけ口がどこにあるのか。今、紙の分別をやっているが、紙は、国内で40万トン位年間余っている。ダブついているところで、更に分別した紙を提供して、それをはくのは、製紙メーカーに負担しろという話になると、経済の低迷ということもあり、問題が出てくる。要は、ごみをどれくらい減らすかというところで、少し論調を強くして次の計画を考えていくべきだ。</p> <p>あと、先程の質問に対する市側とは別の回答になるかもしれないが、ダイオキシン対策として、過剰設備ということだが、自分の裏庭だけは止めてくれというような社会的情勢もあるから、焼却そのものに係るコストよりも、むしろ社会的コストをどのくらい低減させるかということを考えないといけない。その時に、ダイオキシンに関して過剰な設備投資が本当にいいのかと、決してそうではない。ダイオキシンの毒性は、相当強いと認識されているわけだから、そういう意味では、問題は濃度の問題だ。だから、そこは周りの環境等の配慮で、十分な技術を使って対応してもらいたい。</p> <p>今の話は、私は非常に興味深いですが、定性的な議論ではなくて定量的な議論をしないと決着はつかないというか、最適水準は決められないので、それは別な場で、専門的な議論をしていただきたい。</p> <p>副会長が、ぜひ発言させてほしいということ。</p>
<p>平賀副会長</p>	<p>有料化を始めるにあたって、仙台市は、あの時、説明不足だと叩かれて、それに対して、市当局は説明会を開催し、のべ20万人を超える市民の方に参加をいただいた。これは、素晴らしいことだ。ご苦労様といたい。それから、市民を褒めたらいいんじゃないか。市政だよりも、大きく載せていただいて、更にみんなの努力をお願いすると。で、その金は、別な意味で生かすということで、そういうふうにも明るく答えていけば、素晴らしい。色々な人に聞いたが、女はごみが減っていることを実感している。事業所も、クリーニングの、襟の白い紙まで紙ごみに入れてるという話を聞いたので、そういうことをやって貰えればいいということで、まず褒めて、そして、さっき言ったリバウンドしないように、これからもその調子でお願いするということを書いて貰えればいい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>平賀副会長は、貶すよりは褒めるほうが人間はよく動くということを経営のなかで体感してるようだ。今の議論について、意見があるか。はい。では、内田委員。</p>
<p>内田委員</p>	<p>達成目標をクリアしたということで、アピールすることは非常にいいし、市民を褒めることも重要だが、アピールする時に、誤解ないようなアピールというか、説明をお願いする。というのは、私自身本当にごみが減量化されているのか懐疑的なところがある。家庭ごみは減っているが、総じてどうなのかと。月を追うごとに差分が減ってきてる。それと、家庭ごみに捨てられていたものが、コンビニとか、生協などのリサイクルコーナーに回されて、家庭で主婦がごみを排出するときに、その量を減らしたいために事業系のほうに回って行って、トータルでは変わっていないのではないのかという噂が回っている。でも、資料を計算してみると、確かに減っている。であれば、それも事業系に回っているわけではない、確かに減っているということ、そういう不信感が取り除けるような説明も加えて、アピールしていただきたい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>今の点は特に答弁はよろしいか。高橋委員。</p>



高橋委員	<p>次、会議があるので、失礼させていただくが、先程、家庭ごみが減った減らないという話だが、これまで大体我が家では、指定日の時は、ほとんど、朝いつもごみ袋を持って行っていたのが、最近はない。で、見ると、家内が紙袋を用意して、紙類を入れている。それは自分で決まった日に出しているようなので、私が生ごみとして出す実感としては、非常に減ったと感じている。それから、ガソリンスタンドでは、ごみを受け取らない。今まではサービスでやってくれたが、有料化になったのでやりませんという、そういった変化は感じる。</p> <p>それで、私、小学校なので、一番紙が多いと思っているが、現実問題として、生ごみとして出るのは、給食の残菜だ。それから、牛乳パックのリサイクルだ。私の身近では、メモ用紙は必ず印刷物の裏を配って使っている。電話のところに必ずそういった紙を使っている。それから、職員会議等で使うのもできるだけ裏紙を使うように徹底して、職員室でもやっている。コピーとか印刷の場合も、必ず分けているので、ある程度、協力はできてる。私は、裏紙に書くのはもう慣れていて、メモ用紙っていったって既製品とか売ってるようなのは使っていない。</p> <p>最後に質問するが、ごみ焼却に伴う基本理念の2の下のほうで、熱エネルギーを有効に活用するというのがあるが、温水プールとかなんかし浮かんでこないが、有効に活用していいとは思いますが、逆にプールとかだと、安全面とか、維持費とか、利用率とか、色々関係してくるのかなと思うので、エネルギーの有効活用というところで、少し説明して欲しい。</p>
議長(海野会長)	<p>プールの話は色々な部局が絡むという気もするが、環境の面から。</p>
大槻課長	<p>ごみの余熱利用だが、発電に利用しているのが量的には一番多い。電気を起こし、工場のごみ処理に使う電気は、発電した電力を使って、余剰が出れば、東北電力に売るといような状況だ。もう一点、プールの話が出たが、こちらは、熱を供給する側ということで、プールは、他局のほうで運営している。3工場ともプールを併設しており、そちらのほうに熱と電気を供給している。一箇所だけ、松森工場に併設しているものだが、PFI事業ということでやっており、環境局のほうで所管している。ほかの2工場のプールは、他局で所管している。</p>
議長(海野会長)	<p>高橋委員、よろしいか。それでは、2番目の議論、このへんでよろしいか。次に、その他の項目、事務局から、「平成21年度のごみ減量・リサイクル推進施策について」、問題提起をお願いする。</p>
総務課長	<p>資料3について説明。</p>
議長(海野会長)	<p>それでは、時間も残り少ないが、質問、意見等、今日発言していない方中心にお願いします。発言していない方に限るわけではないが、優先権をそういう方に持っていただきたい。よろしいか。佐々木委員。</p>
佐々木委員	<p>ごみ出しは、今まで週3回やっていたのが、今年は2回になって、1回減ったことをお話ししたい。もうひとつは、来年度の予算には間に合わないが、このなかで考えてもらえればということだが、ごみの集積所の問題だ。柵を作って集積所を作っているところもあれば、そうでないところもある。町内で一様にはなかなかできない。回収のない日のごみ集積所の様は、町の環境というところで気になる問題になっている。その町の風物のひとつを、ごみ集積所のネットがダラっと下がったり、ちゃんと集積所になっていたり、環境美化という観点では、なんとなく見苦しい。これに助成金を出すというふうには町内でも考えているが、私の町内では、ごみの集積所が50箇所近くあるので、とても助成なんてできない。ごみを集めればいいというのではなく、集積所の美化対策というか、見苦しくない対策は取れないものか。</p>

議長(海野会長)	早田次長。
早田次長	<p>集積所の管理については、経費等も含めて、地域にお願いをしている。ただ、有料化を契機にして、ネットの無料配布をした。ただ、ネットの無料配布で、使われていない時に見場が悪いという話もあったが、環境事業所でも、色々工夫した考え方を持っている。そのネットをうまく使用して、整理整頓できないかっていう工夫も、徐々に事業所の職員のほうが考えている。助成金という話だが、これについては、構造の問題もあり、場所によっては、工作物を道路に造ることはほとんどできないというようなこともあり、助成については、現状では難しいが、集積所を、どうやったら見栄えがよくできるか、後出しが無いようにできるか、環境事業所のほうと、知恵を絞りながら、地域にクリーン仙台推進員もいるので、工夫してまいりたいと考えている。</p>
佐々木委員	<p>ぜひお願いしたい。仙台市のごみの回収はいいが、その後の見栄えが悪いというのは、望ましくない。環境美化という市の大きな方針のなかで、これをうまくいくようにしてもらいたいというのが念願だ。よろしく願います。</p>
議長(海野会長)	<p>子供から年長者まで、あんまり見て美しいものではないので、知恵を絞りたいところだ。色々与えられたコンディションが違うので、難しいが、みんなで知恵を合わせて努力していきたい。</p>
庄司委員	<p>私も、今回の有料化に関しては、毎回、集積所に出向いて協力した一人だが、うちの町内会では、よく協力をいただき、ごみもかなり減った。出すのが面倒くさいのか、見られるので、出しにくかったのか、かなり減ったという印象だ。</p> <p>最近、紙、アルミ缶とか、持ち去りがあるやに聞くが、仙台市内で、あるのかどうか分からないが、現状、局でそういう情報を把握してるのか、あれば伺いたい。</p>
議長(海野会長)	遠藤課長。
遠藤課長	<p>アルミ缶の持ち去りは、あまり通報はなく、紙は、有料化が始まってから、市民や回収事業者から寄せられている。今日まで、10月から60件位の通報があった。よその市町村に比べると少ないが、有料化が始まってから、パトロールをGメンと一緒にやっている。11月、12月、1月と、寄せられた情報を基に、朝から職員が張り込んで、直接指導するというので、張り込んでいるが、逃げられたり、遭遇しなかったりというので、今月も18日から、パトロールを実施する予定だ。</p>
庄司委員	<p>産業廃棄物じゃないが、椅子とか、前は地域で集団で受け付けていたが、今は、個別に出している。町内会から、前と同じように、日にち指定の、そういうのがあってもいいのではないかとという声がある。そのへんはどう考えるか。</p>
早田次長	<p>先程グラフで示したように、13年から粗大ごみの有料化を契機にごみの量が減ったデータを示した。町内会で管理して、まとめて出すという場合に、事業ごみとか、そういうものが出されることが予想される。無料の時代に、そういうことで、日にちを指定しても、その前に、色々な地域からごみが出されて、ごみの量が多くなっていったという背景があると分析しており、以前のような形になったときに、いかにごみを町内会で管理できるかというのが非常に不安で、粗大ごみも2週間に1回まわる仕組みになっているので、そちらを個別に利用していただけるよう普及啓発していきたい。</p>
庄司委員	<p>一応、町内会の会長の話しもあったので、話をさせていただいた。個別になっているので、難しいとは思いますが、なお、指導していただきながら、粗大ごみに関してもよろしく願いたい。</p>

議長(海野会長)	<p>その辺りは、なかなか難しいところだ。永遠不滅の真理があるのではなく、状況に応じて、非常に高度なコントロールをしなければいけない。</p> <p>時間も迫ってきたが、まだ発言いただいてない方を中心に。荒井委員。</p>
荒井委員	<p>事業系ごみの増減について、先程減少傾向にあるという話があったが、本当に減っているのか聞きたいことと、私どもの事業所で、社内のごみ減量にチャレンジしてみたが、初年度は 25% ぐらい減る。かなり努力して。次の年、次の年となると、仙台市と同じような傾向になっていくと思うので、さらに廃棄物を減量するためのアイデアとかがあったら、積極的に広報するとか、お知らせするようにすると、減量が進んでいく。それから、エコにこショップという認定制度があって、各商店街でも、実際にやっているところがあるが、貰ってしまうと、おしまいというところもあると聞くので、更に事業系のごみを減少させるためにも、エコにこショップ、エコにこオフィス、そういったところの巡回とか、指導を、今後、する予定があるのかどうか、それと、生ごみを減らすとかなりごみが減るということは、やってみてわかったが、ここに電気式生ごみ処理機の購入費補助として、6 千万円計上してあるが、これは、1 件あたりどのぐらいの補助ということになるのか、伺う。</p>
議長(海野会長)	<p>今お願いします。</p>
遠藤課長	<p>事業ごみは、確かに減っている。事業所に、17 年度に紙類回収庫という事業系の紙を無料で回収する場所を設け、16 年度では 18 万 2 千トンだったものが、17 年度では 16 万 5 千トンまで減っている。こういったことで、家庭ごみは、横ばいだが、事業系ごみは、そのときから減少が続いている。今年度も、事業系のごみは減少している。</p> <p>それから、エコにこショップだが、19 年度、認定件数を倍増して、600 のショップ、オフィスが登録した。今後、その後のフォローとして、先進的な取り組みをしている事業者の紹介に努力したい。</p> <p>それから、電気式生ごみ堆肥化容器の補助は、以前は 2 万 5 千円、1 器あたり 1 世帯ということで補助してきたが、20 年度から有料化を控え、補助率を 50% から 60% まで引き上げ、上限 3 万円ということで補助を拡大している。6 千万円ということで、補助台数は 2 千器を当初予定している。</p>
議長(海野会長)	<p>そのほか。矢吹委員。</p>
矢吹委員	<p>私のうちの状況を見ると、有料化になってから、袋を当初 1 回買って、今月に入ってもう 1 回買ったということで、まだ 10 枚ちょっとしか出してない。中袋だ。ネックになったのは、生ごみだった。これは色んなことやっても失敗をしていたが、意を決してやり始めたら、冬場だけど、生ごみを捨てない生活になった。このような生活をしている人間から見ると、市民一人当たり 1 日 1 kg、データのありえないとしか思えない。4 人家族で 1 日 4kg も出してるか、というのが実感で、何故なのだろうと思っている。だから、減らすという意味では、絶対余力がある。ぜひ、詳しく分析して、もうちょっと力強くアピールをしていただけるといい。</p> <p>有料化になってから、真剣に取り組むようになったが、リサイクルではダメだ。一步二歩進めて、やっぱりリデュースのところ、本当にごみを出さない暮らしというところに力点を置いて、やった人を明るく褒めて、役所も頑張ったと自画自賛していいが、皆で仙台市をよくするため、ごみのない環境に配慮した市政、環境先進都市だと言えるような、一步二歩はもう進んでいるので、ぜひ、そのへんを市民に広報し、役所の中でもお互い頑張っていると言いながら、進めていただきたい。</p>
議長(海野会長)	<p>今、大事なポイントがあったが、ただ、統計の魔術があるんじゃないかと思う。平均値は、とてつもなく多く出す小数の世帯に影響される可能性がある。今日は時間もないので、いずれ分布も踏まえた制御の方法について分析をして、こういう更なる工夫も</p>

<p>加藤委員</p>	<p>あるとか、次回ないし次々回位に報告いただけるといい。 時間も迫っているが、加藤委員。</p> <p>先程、吉岡先生から話があった部分、誤解を招くと困るので、議事録に残るという前提で、それを払拭するために申し上げたい。</p> <p>販売する事業者にも、抑制努力という項目を入れるべきだと。そのとおりだし、私どももそう考えている。しかし、それと連動しながら、この予算について質問したいのは、その抑制のために事業者がやっているのは、法的に、容器リサイクル法に基づいて、容リ法負担金という大変な金を拠出している。各企業では、何億という形で拠出している状況の中で、昨年、容リ法が変わり、余った金を、行政に1/2 ずつ拠出しようという形になっている。で、質問の主旨は、そういう前提に立った時、ここにあるビン、ペットボトルの分別収集事業費13億7千万、プラスチック製容器包装分別収集8億3千万弱、こう計上されていて、容器リサイクル協会から、来年度から余剰分が出れば、1/2 相当が還元されるという形になっているので、そういった部分がこの予算に織り込まれているのかということ、ちょっと質問したい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>事実の問題なので。遠藤課長。</p>
<p>遠藤課長</p>	<p>容リ法の改正により、市町村、市民の努力によって、分別されたものの品質が向上すると、従来かかっていた費用が低減され、製造者が負担する金額が、当初よりも減るということで、その当初見込んでいた処理費用と、現実にかかる処理費用の余剰分の1/2を、品質のよい市町村に分配しようという制度が、今回の改正リサイクル法で定められた。ただ、まだ制度が始まったばかりで、プラスチック製容器包装や、ペットボトルは、現状では、有価で動いていたものが、処理費用がかかるようになったりということで、どのぐらいの余剰金が発生し、仙台市にどのぐらい分配されるかというのは、未定などところがある。その部分は、歳出ではなく、歳入の項目になるが、現在は、先が見えないということで、歳入の計上はしていない。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>それでは、時間も迫っているが、よろしいか。それでは、2時間近く有意義な議論ができた。最後に、今後のことだが、事務局から、何かあれば、願います。</p>
<p>星課長</p>	<p>次回の審議会だが、来年度の開催を予定している。具体の時期については、会長と相談して、改めて連絡を差し上げる。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>それでは、そういうことで、次回までに、何か意見、要望等あったら、事務局にお寄せいただきたい。</p> <p>( 閉 会 )</p>